



ファミサポだより

第 52 号

R5.9月発行

猛暑の夏を乗り越えて、季節は確実に秋へと移り変わっています。令和5年度ファミリー・サポート・センターさのがスタートし、早6か月が過ぎようとしています。時(とき)の経つのは、本当に早いものだなとつくづく思います。

会員の皆様には、ファミリー・サポート・センター事業について、深いご理解をいただき、心から感謝申し上げます。特に、まかせて会員様には、事前打合せや援助活動等、様々な場面で丁寧にご対応いただき、おねがい会員様からも「安心して子どもをお願いできる。」というお話を聞いております。本当にありがたく思っております。

ファミサポ・ダイアリー

会員さん&皆さん、いらっしゃい! ~講習会・交流会~



< 第1回:講習会「子ども4人 仕事も育児も奮闘中!!」~さよなら孤独な育児生活~ >

ファミサポおねがい会員の齋藤絵理さんにご講演いただきました。群馬県職業能力開発協会技能検定において、国家資格「1級鉄筋施工技能士」に女性として30年ぶりに合格された、常に前向きなお母様です。



参加者の皆さんは、齋藤さんが前向きに仕事と育児を両立しようとしている姿に感心していました。



「いつもありがとうございます!」
齋藤講師さんとまかせて会員の栗島さんで、パチリ!



< 第2回:交流会「さのまるといっしょにたのしくおどりましょう」>

音楽健康指導士の稲垣佳代子さんを講師にお迎えし、さのまるといっしょに楽しく体を動かしました。参加した方々がみんな笑顔の時間を過ごしました。体と心のリフレッシュができました。



「さのまる音頭で さ~のってごう♪」稲垣講師さんの元気な歌声と切れのある踊りで、みんなノリノリ!



お待ちかね、さのまる参上!
輪になって、覚えてたのさのまる音頭を踊りました。

<第3回:講習会「普通救命講習Ⅲ」>

佐野市消防本部の職員を講師として、会員様とファミサポ職員が小児・乳児等に対する救急救命・応急手当を受講しました。いざという時に適切な対応ができるように、真剣な表情で受講していました。



心肺蘇生は、「胸骨圧迫」と「人工呼吸」の組み合わせ。乳児の胸骨圧迫は、指2本で行います。

AEDは、心臓に電気ショックを与え、心臓のふるえを取り除く機器。命を救うため、迷わず使用します。



ファミサポの窓

ファミリー・サポート・センターさのが第一に目指していることは、「安心して子育てできる地域の環境づくり」です。目標に少しでも近付くためには、市民の皆様のファミリー・サポート・センター事業に対するご理解が必要となります。多くの方がファミサポの存在や事業内容をご理解いただいていることで、現在1,167人の方が会員登録をしてくださっています。

しかしながら、おねがい会員さんの依頼に十分に伝えるには、まかせて会員さんを更に増やしていく必要があります。「子どもと関わることが好きな方」、「子育てがひと段落した方」、「ファミサポ事業に関心のある方」などいらっしゃいましたら、ぜひファミサポをご紹介いただけると幸いです。子育てを地域で支えていきましょう。ファミリー・サポート・センターさの ☎22-0115



会員数 (8月末現在)

おねがい会員	755人
まかせて会員	347人
どっちも会員	29人
合計	1,131人

職員紹介

よろしくお願ひします

長竹 克裕 (所長)
 萩原 たみえ (本所AD)
 藤橋 理絵 (本所AD)
 飯塚 ひろみ (田沼支所AD)
 安藤 和子 (葛生支所AD)

※ADは、「アドバイザー」の略です。

ファミサポ「報酬の基準」の再確認を!

★入会時に説明させていただいた「報酬の基準」のポイントを再確認ください。

- (1)最初の1時間までは、援助が1時間未満でも1時間とみなす。
- (2)1時間を超える場合は、30分単位で報酬基準の半額を加算する。
 <例> 1時間20分の場合(月～金)⇒700円+350円
 1時間35分の場合(月～金)⇒700円+700円

○おねがい会員さんにとっても、まかせて会員さんにとっても、時間はとても貴重です。お互いに基準(ルール)を尊重しながら、信頼関係の中で援助活動を進めていきましょう。